



基準日 2015 年 6 月 30 日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	14,040円
純資産総額	4,450百万円
受益権総口数	3,169百万口
顧客数	1,229人

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	81.2%	+10.8%
現金等	18.8%	▲10.8%
構成銘柄	52社	±0社

分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
▲0.92%	9.00%	18.17%	27.92%	40.40%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

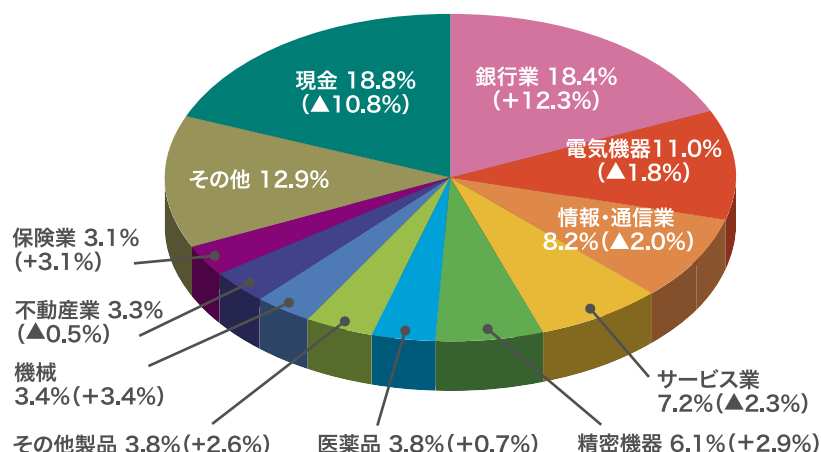
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

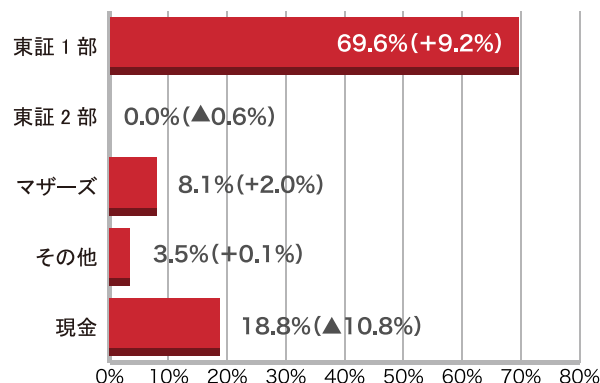
基準日 2015 年 6 月 30 日付

業種別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

市場別構成比 ()内は前月比



組入上位5銘柄

(2015 年 5 月 29 日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
楽天	東証1部	サービス業	3.0%
富士通	東証1部	電気機器	2.9%
三井住友トラスト・ホールディングス	東証1部	銀行業	2.6%
日立製作所	東証1部	電気機器	2.5%
安川電機	東証1部	電気機器	2.5%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入上位5銘柄の紹介

(2015 年 5 月 29 日現在)

銘柄名[コード]	概要
楽天 [4755]	主な事業はインターネットサービスと金融サービス。ビジネスモデルは、楽天グループが提供する様々なサービスにより形成される「経済圏」で、貯めて使える「楽天スーパーポイント」を通じ、楽天会員となる顧客の流入拡大および経済圏内でのサービス利用や回遊性を促進するというもの。
富士通 [6702]	通信機器メーカーとして創業。欧州パソコン子会社の人員削減やスマホの製造拠点統廃合、半導体製造拠点の売却など構造改革を推進。成長ドライバーは、クラウドやビッグデータ分析など新しい技術を活用して企業の生産性を高めるITサービス。海外展開も本格化。
三井住友トラスト・ホールディングス [8309]	目指す姿は「The Trust Bank」の実現で、メガバンクグループとは一線を画す。傘下に三井住友信託銀行、三井住友AM、日興AMなどを持つ。富裕層基盤を補完する「ダイナースカード」を買収しクレジットカード事業も強化。信託機能を活かしたフィービジネスの拡充を図る。
日立製作所 [6501]	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靱な組織になり、収益体質も強化。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になる。
安川電機 [6506]	産業用ロボットとモーションコントロールが主力。2025年ビジョンでは、既存分野で世界シェアNo.1を追求するとともに、創・蓄エネ事業の確立、バイオメディカルやリハビリテーション用ロボットなど生活の質を高める「ヒューマトロニクス機器」の市場創造を目指す。

市場概況

6月の株式市場は、ギリシャ債務協議の動向で乱高下する展開となり、24日には債務協議の解決期待から日経平均はITバブルの高値を更新しましたが、協議が物別れに終わったため月末にかけて大幅に急落、日経平均の月間リターンは結局1.59%のマイナスとなりました。

詳細は以下の通りです。月初は5月からの日経平均12連騰後の加熱感や中国株の調整などを嫌気し、やや調整気味で推移しました。8日の米GDP上方修正や好調な雇用統計を受けた利上げ懸念の台頭や、黒田日銀総裁の「円安牽制発言」による円高進行が外需株売りを誘引、全体を押し下げました。その後、欧米株の反転や法人企業景気予測調査が改善を示したことなどを受けて一時反発しましたが、ギリシャ債務協議に進展がないことから再度下落基調となりました。さらに18日にはFOMC(米連邦準備制度理事会)声明で年内の利上げ開始が強く示唆されたことなどを受けて日経平均は下落、月間最安値19990円(ザラ場)を付けました。22日近辺からはギリシャが歩み寄りを見せるなど債務協議に対する楽観的な見方が急速に台頭、世界で株式買い戻しの動きが顕著となり、日経平均は年初来高値20952円、2000年に付けたITバブルの高値を更新しました。25日以降はギリシャ協議の難航を受けて反落、さらにギリシャが表明した国民投票の実施を27日EU側が拒否したことでデフォルト懸念が再浮上、29日の日経平均は596円(▲2.88%)の急落となりました。

主な株式指数をリターン順に見ると、東証マザーズ指数(+3.03%)、日経JASDAQ平均(+2.05%)、東証2部(+1.8%)、JASDAQ指数(+1.75%)、日経平均株価(▲1.59%)、TOPIX(▲2.58%)となりました。TOPIX規模別では、スモール(+0.22%)、ミッド400(▲2.03%)、ラージ70(▲2.61%)、コア30(▲3.74%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、小売業(+4.31%)、水産・農林業(+2.16%)、精密機器(+1.77%)でした。同下位3位は、ゴム製品(▲11.69%)、鉄鋼(▲8.32%)、海運業(▲8.29%)でした。なお33業種のうち6業種がプラスリターンとなっています。

運用状況

◎6月末のポートフォリオ

株式等組入比率は81.2%(前月末比+10.8%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は18.8%(同▲10.8%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部69.6%(同+9.2%)、東証マザーズ8.1%(同+2.0%)などとなっています。業種別では、トップが銀行業18.4%(同+12.3%)、次いで電気機器11.0%(同▲1.8%)、情報・通信8.2%(同▲2.0%)としました。組入銘柄数は前月末と同様の52銘柄となっています。

◎6月の投資行動

6月はギリシャ債務協議の動向を特に注視し、株式等組入比率をダイナミックにコントロールしました。難航する同協議やFOMC(16・17日開催)での利上げ議論など、相場下落リスクを回避するため引き下げていた株式組入比率を、日経平均が月間最安値を付けた18日以降、23日にかけて90%程度まで引き上げました。その後、同協議を楽観視する見方から24日に日経平均は年初来高値を付けましたが、同協議が最終決着に至らないリスクを回避するため24日から26日にかけて76%台まで引き下げ(キャッシュ比率24%まで引き上げ)、月末(29日)の相場急落前に対応しました。

◎6月のファンド月間リターン

6月末の基準価額は14040円(5月末14171円)、ファンドの月間リターンは0.92%の下落となりました。当ファンドのリターンにマイナス寄与した主な業種は、電気機器や銀行業などです。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは2.58%の下落となっています。当ファンドのリターンがTOPIXを上回った主な要因としては、【6月の投資行動】で説明した通り株式組入比率をダイナミックにコントロールしたことや、TOPIXにおいて11%程度の構成を占める輸送用機器を保有していなかったことなどによるものです。

●組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

2015年7月3日 運用部長 糸島 孝俊

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
6月1日	日経電子版	「若い世代に広がるNISA」でこどもトラストセミナーを紹介いただきました
6月2日	日経新聞	朝刊15面 一目均衡「統治改革の目的と手段」で伊井がコメントしました
6月5日	日経電子版	「楽天 5回目の増資でも勝ちパターンは通じるか」で糸島がコメントしました
6月7日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「問われる投資家と企業の対話力」と題し、渋澤が寄稿しました
6月9日	日経新聞	スクランブル 切り札は「株式購入権」で糸島がコメントしました
6月13日	TV東京	「マネーの羅針盤 プルベアコンパス」に糸島が出演しました
6月10日	日経電子版	日経マネー 「ファンド大賞、独立系が連覇 順位には入れ替えも」でコモンズ投信が紹介されました
6月10日	日経DUAL	渋澤健 チェンジメーカー7つの感情 第6回「今、仕事が大変なんだ」と言い続ける夫は悪か？」が掲載されました
6月15日	TV東京	WBS「日本株のプロが気にするのは？」で糸島がインタビュー取材にお答えしました
6月17日	日経電子版	スクランブル・フラッシュ「日本株、買えない中で買う「守り」銘柄」で糸島がコメントしました
6月22日	日経新聞	「企業統治と機関投資家向け規範 2つのコード、市場変える」で伊井がコメントしました
6月23日	ロイター	アングル「年初来騰落率でインバウンド関連株躍進、急迫の製造業も」で糸島がコメントしました
6月25日	日経電子版	「日経平均が1Tバブル高値超え 市場関係者の見方」で糸島がコメントしました

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明&運用報告会	7月17日(金)	19:00~20:45	北海道札幌市 (わくわくホリデーホール(札幌市民ホール))
	7月18日(土)	10:00~12:00	東京都品川区 (ぎゅりあん(品川区総合区民会館))
	7月18日(土)	19:00~21:15	大阪府大阪市 (大阪総合生涯学習センター)
	7月19日(日)	10:00~12:00	愛知県名古屋市 (ウインクあいち)
	7月19日(日)	19:00~21:15	東京都中央区 (TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター)
30 才からの “はじめてのコモンズ” (お子様連れ可)	7月10日(金)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月25日(火)	10:30~12:00	
30 才からの “はじめてのコモンズ”	7月22日(水)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月11日(火)		
60 才からの “はじめてのコモンズ”	7月31日(金)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月21日(金)		
パパとママのためのこどもトラストセミナー (お子様連れ可)	7月23日(木)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月11日(火)	10:30~12:00	
「コモンズ 30 ファンド」「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明会	7月11日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月15日(土)		
コモンズまなび塾 「はじめて学ぶ 投資信託」 DAY1 ~ 3	DAY1	6月16日(火)	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		8月13日(木)	
	DAY2	7月7日(火)	
		8月20日(木)	
	DAY3	7月21日(火)	
		8月27日(木)	
渋澤健と考える「自分の手元から始める豊かな未来への投資」	7月15日(水)	18:30~20:30	富山県富山市(富山県民会館)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターにお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時) 03-3221-8730	■ ウェブサイト http://www.common30.jp/
	◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階